

ちやいんど NET 八日市

第34号

編集・発行 ちやいんどネット八日市 2025年(令和7年)3月15日発行
事務局 八日市コミュニティセンター内 TEL 0748-23-4120 (IP 050-8034-1141)

一人はみんなのために、みんなは一人のために

ちやいんどネット八日市 会長 森 正

普段関わることの少ない中学生と地域の大人が、「楽しくトーク、本音でトーク」。二学期終業式の日の午後、コロナ禍の中断を挟んで通算4回目となる「中学生と大人のしゃべり場」が開催されました(見開き右参照)。

今回は、聖中生徒会役員以外に、関心を寄せてくれた他校の不登校の生徒も1名加わりました。当初、この生徒はパーカーのフードで顔を覆っていましたが、連想クイズに参加し、おしゃべりを重ねるうちに、気が付けば、フードを取り外していました。「しゃべり場」終了後は初対面の生徒達と談笑する姿が見られました。

あるがままに受け入れてくれる大人の人間と分け隔てなく接してくれる生徒達に出会えて、「対等に交流できたことが、一番嬉しかった」と感じてくれたようです。

生徒達はアンケートで、おしゃべりが楽しかったと答える一方、こういったおしゃべりの経験はほとんどなかったと答えています。

SNSで真偽の分からない情報が拡散され、社

会の分断が懸念されます。違いを認め合い、他者の痛みを自分のこととして受け止められる温もりのある世の中になるよう、顔を合わせて自分のことをおしゃべりできる機会を大切にしていきたいと思います。

昨年11月、高島市立今津中学校の3年生ほぼ全員(約80名)が参加する「大人としゃべり場」(学校・PTA共催、地域住民自治協議会後援)を見学(上記背景写真)してきました。特に印象に残ったのは、「やんちゃ」な出で立ちの生徒も他の生徒と同じように大人の方と真剣におしゃべりしている姿です。さすが、身分の上下にこだわらなかった近江聖人中江藤樹の土地柄だと納得してしまいました。

戦後80年、私たち「戦争を知らない子供たち」世代は、戦争を知る世代から学んだ平和の尊さを次の世代に引継ぐ使命があります。前提になるのは、世代を超えた信頼関係です。

《ぼくらはみんな 生きている

生きているから・・・》(手のひらを太陽に)

学校連絡会

8月5日(月)14:00～15:30、北小校長の武久先生とちやいんどネット役員8名で、地域・学校における教育・子育てと子ども達の現状についてざくばらんに話し合っていました。



武久先生は、言葉にこだわった読み聞かせ・体験と話し合いをキーワードにしたゲーム集会・子ども目線に合わせた挨拶・別室登校児の支援等、子ども達の内面に働きかける学校づくりに言及され、自治会館等を拠点にした子ども達の居場所づくりへの期待を示されました。

八日市キッズ夏休み学習会

7月23日、24日 8月6日、7日 9:30～11:30の4日間、例年のように八日市キッズ夏休み学習会を開催しました。7回目の開催になります。

今年も、北小学校・箕作小学校にご協力をいただき、学校を通して子どもたちに案内を配布しました。定員30名でしたが、多くの申し込みを頂き、定員オーバーでお断りをした方もおられたこと申し訳なく思っています。北小・箕作小それぞれ15名ずつ参加してくれました。また、八日市地区だけでなく中野地区・建部地区からも参加してくれました。



ガイダンスでは、^{じいじ}爺爺ボーイが漫才風に学習会の説明をしました。(うけたかどうかは知りません)

- ・自分で考えて、学習をすすめること
- ・休憩時間もピアノ演奏、ダンス、読み語りなど楽しい催しがあること
- ・大人の人だけでなく、高校生の人にも勉強をみてもらえることなどです。

…(ボケ)「いきなりやけど うちのおかんが…『勉強会 行かへんか』って 言うてんにやけど 勉強会の名前 忘れてしもたらしいんよ」…(ツコミ)「ほな 僕が …一緒に 考えてあげるから どんな特徴 言うてたか 教えてくれる」…(ボケ)「なんでも 箕作小と北小の子らが 来るらしいねん」…



特に、今年は高校生ボランティアが、27人の登録で、毎日交代で10人前後参加してくれました。大人のボランティアの方も6～7人いてくださったので、充実したスタッフで運営することができました。また、小学生と交流する機会を持つことで高校生ボランティアの皆さんの成長にもつながったのではないかと思います。



ジャズダンス 「キム」さん



ピアノ演奏 灰谷さん

音階とリズムをたよりに、馴染みのあるゲーム音楽やCMソングの曲を当てる



読み語り 1～3年生 南さん



読み語り 4～6年生 熊木さん



学習時間(45分×2限)は自分なりの課題をしっかりと学習し、休憩時間(20分)はいろいろな文化的活動にふれ、また高校生のお兄さんやお姉さん大人の方と触れ合う時間を持つ、そんな充実した4日間をすごしてくれたのではないのでしょうか。

今年の参加者の約半分はリピーターでした。来年も、多くの小学生の皆さんが参加してくれることを願って開催したいと思っています。

中学生と大人のしゃべり場

12月24日(金)13:00~14:30、今回は聖中に近い文芸会館に、中学生13名がやって来てくれました。ありがたいことに生徒数を上回る20名の地域みなさんにご協力いただきました。引率の先生1名にもご協力いただいて4人ずつ交代で生徒役に回っていただきました。(詰めが甘く、大人と生徒役の大人が向き合ったとき、同じ方同士が繰り返しおしゃべりいただくことになってしまいました。「申し訳ございません」)

例年、他地区からの協力者もおられます(今回5名)。校区全体で学校と連携を図る取り組みになりつつあるように思います。



来た人から、自己紹介(ニックネーム・趣味・特技等)シート作成



進行
良い子や立派な大人になってもらわなくて結構。「おとなは、だれしも、はじめは子どもだった」(星の王子様)



連想ゲーム「相性ピッタンコインスピレーションクイズ」
最後は、「市の開かれた日に因んで名づけられたまちの名前は？」

中島コミセン館長にバトンを
「ご自分の弱点は？」。



聖中校長大橋先生登場。引率の山村先生にバトンを
「好きになった人はどんな人？」

お相手とお題を替えながら、向き合った2人がそれぞれのお題について約1分おしゃべり。さらに、話し手のおしゃべりに対する聞き手からの質問を受けて約30秒おしゃべり。お題は、「好きな食べ物と自分流の食べ方」(生徒・大人共通)、「今の悩みや不安、困っていること」(生徒)と「中学生の頃の自分に言ってあげたいこと」(大人)等、お相手同士で対になった12×2問。最後に、お題なしのフリートーク約5分。

中学生のアンケートより

- ・あまり周りの人に言えない悩み事なども話せたので、自分の気持ちも軽くなった。
- ・「こんな人がいるんです」などをはなししていると、友達は大切にしないといけないと思いました。
- ・年上の人と恋バナすることがあまりなかったので楽しかった!!
- ・小さな嬉しいことでも幸せなので、日頃幸せだなと思うことをもっと大事にしていきたいなと思った。
- ・仕事をするのは、自分はお金をかせぐためだけど、大人が家族をやしなえたことと言ってすごいと思った。
- ・大人の人達はこう思っているから親にもこう言おうと考えることができる。
- ・(お題「中学生の頃の自分に言ってあげたいこと」に、)「もっといろんなことしてあげてねー」みたいなことを言われた時は確かにそうだなーと思った。
- ・たくさんお話しできて去年と同じく良い経験ができた。



生徒代表感想
玉城生徒会長

大人のアンケートより

- ・しっかり悩みながらも自分の思いを伝えてくれてよかった。
- ・初恋の思い出がよみがえった。
- ・義母の話をした時、好きになることと愛するということの違いを教してもらいました。深いなあと感動しました。大切にしてくださいと言われて泣きそうになりました。
- ・小学生の見守りをしていると言ったら、小学生の時すごく安心したし、嬉しかった、続けて欲しいと言って下さった。
- ・TVドラマ「幸せのカルテ」に感動している生徒さんと「光る君」に感動している自分との間にシンパシーをおぼえました。
- ・(お題「こんな学校やったらもっとよいのにとと思うこと」に、)「文化祭を2日間やりたい。生徒が考えて!!」と答えていた。
- ・初めての参加でしたが、思った以上に話が出来ました。



大人代表まとめ
友本副会長

2024 年度（令和 6 年度） ちゃいるどネット八日市 役員（年 1 回の発行のため年度末の掲載、敬称略）

役員名	氏 名	所 属	役員名	氏 名	所 属
会 長	森 正	ちゃいるどネット	代表委員	加川 裕子	民生委員主任児童委員
副会長	図師 孝彦	ちゃいるどネット	代表委員	大橋 利恵	民生委員主任児童委員
副会長	友本喜代子	ちゃいるどネット	代表委員	加川 泰正	社会福祉協議会会長
事務局	中川 晴美	ちゃいるどネット	代表委員	篠原 耕平	冒険遊び場づくり P J
会 計	灰谷 実	ちゃいるどネット	代表委員	西村 直也	箕作小 P T A
監 事	植村 春枝	前年度聖中 P T A	代表委員	小島 友美	北小 P T A
監 事	岡崎 麻貴	前年度箕作小 P T A	代表委員	南 ひとみ	聖中 P T A
代表委員	浦根 悦夫	まちづくり協議会代表	委 員	竹中 洋美	コミセン協力委員
代表委員	中島 俊治	コミセン館長	委 員	井上 淳子	ちゃいるどネット
代表委員	高木 輝子	ぽっぷ八日市代表	委 員	尾方知加子	ちゃいるどネット
代表委員	堤 康善	自治連合会副会長	委 員	福田真由美	ちゃいるどネット

2024 年度（令和 6 年度） ちゃいるどネット八日市関連事業

上期	6 月 1 日（土）「第 1 回わくわく子ども塾」（コミセン事業）協力 6 月 8 日（土）「第 1 回代表者会」 事業・収支決算報告、役員・事業計画・予算審議、他 6 月 16 日（日）「ようかいちコミセンフェスティバル」遊びのコーナー担当 7 月 23 日（火）・24 日（水）「八日市キッズ夏休み学習会」開催 8 月 5 日（月）「学校連絡会」開催 8 月 6 日（火）・7 日（水）「八日市キッズ夏休み学習会」開催	 荒川先生の偏光板を使った万華鏡づくり （「わくわく子ども塾」と「コミセンフェスティバル」でご指導いただきました）
下期	10 月 28 日（月）～11 月 3 日（日）文化祭パネル展示 11 月 30 日（土）「人権まちづくり協議会研修会」（共催） 11 月 16 日（土）「青少年の主張大会」（育成市民会議主催）参加 12 月 24 日（金）「中学生と大人のしゃべり場」開催 3 月 14 日 広報誌発行 3 月 15 日 「第 2 回代表者会」 本年度の活動報告、次年度以降の活動検討、他 適宜 役員会	

〈編集後記〉



ここ最近子どもたちと出会うことも、まして子どもとゆっくり話をすることもほとんどない生活をしていた私でしたが、「ちゃいるどネット八日市」と関わらせていただく機会ができたことで、たくさん子どもたちと出会うことができ、とても喜んでいきます。

夏休み中に 4 日間行われた「八日市キッズ夏休み学習会」。
 小学 1 年生から 6 年生まで 30 名が参加。合わせて高校生ボランティアのお姉さんやお兄さんと一緒に、勉強はもちろんですが、みんなでゲームをしたり、ジャズダンスあり、ピアノの鑑賞あり、絵本の読み聞かせ、読み語りありと、頭と、体と、耳と、心と・・・全身フルに使っての内容です。
 「学習会って 結構、たのしいなあ。勉強するって しんどいばかりじゃないなあ」って、思ってもらえたらうれしいです。

又、12 月中旬には、「中学生と大人のしゃべり場」を開催。
 「はじめまして、〇〇〇です。趣味は・・・」から話はスタート。この日、それぞれに話をした相手は 10 人以上。「お題」に沿って 自分の考えたことを話す。相手の話すことを聞き 相手のことを少し知る。自分のことを少し話す。顔と顔を突き合わせ、目と目が合う。
 相手の話に耳を傾け、うなづいたり、時にあいづちを打ったりする。決して相手を否定しない。
 「直接 顔を合わせて 言葉をかわすことは、そのまま喜びにつながりますね」とは、参加された大人からのコメントです。大事な一日になったことに感謝です。

人と出会って話をするのが 苦手というあなたへ

「ほんのちょっとでいいので 一緒に しゃべってみませんか!!」

(T.K.)

